

「親の背中を見て育つ」

「親の背中を見て育つ」は、私が小さい頃に子育てにおいて語られていたことばです。

このことばの中には、親の仕事の様子を見ることが含まれているのだと思います。その点において、わたしは郵便局員だった父親の仕事の様子を見ることは残念ながらありませんでした。（母親は専業主婦でした。）

先日、本校においてバケツ稲体験の学習が行われました。

専門の方から教えていただくことが良いのではとの思いから、講師は農業に関係する仕事をされている本校の保護者（お父様）をお願いいたしました。

講師であるお父様は、青森県で栽培している米の種類などについて、大きな写真カードを準備するなどして、子どもたちにわかりやすく説明してくださいました。また、稲を植えるための最適な土作りについても、子どもたちの前でポイントとなる点や土の混ぜ方などを実際に見せて教えてくださいました。

自分の保護者がみんなの前に立ち、講師として説明している姿を間近で見ていた子供である本校の生徒はとても誇らしかったのではと、その様子を見て感じました。

一緒にこの授業を受けている子どもたちも、友だちの保護者が自分たちのために、一生懸命教えてくださる（仕事をしている）姿は「カッコいいな！！」と肌で感じ取ってくれたのではないかと思います。

身近な人の一生懸命な姿は、見た人の心に届き、響くように思います。

今回のバケツ稲の学習活動は、保護者の協力で、本校の子どもたちの教育が支えられている、とても有意義な時間でありました。

「親の背中を見て育つ」のように、子どもたちの成長の一助を担えるようなカッコいい本校の教職員となれるよう、チーム弘薈で取り組んでいきたいと思えます。

